



\*やわらかな早春の日差しが心地よく感じられる季節になりました。この時期の気温を表す言葉に「三寒四温」があります。寒い日が3日続くと、その後は暖かい日が4日続くという意味です。みなさんにとっての、「春」も近くまで来ていますよ。体調を整え、元気よく新しい季節に飛び出してください。

\*インフルエンザも、大きな流行なく今現在落ち着いています。2月18日からはインフルエンザ「0」の日が続いています。これも、全員マスクなど保護者の皆様のご協力があるからこそ、感謝しております。まだまだ、油断のできない日が続きますが、引き続き予防の徹底を、よろしくお祈りします。

## 2月13日、学校保健委員会講演会が開催されました！

\*2月13日(水)学校保健委員会講演会が行われました。テーマを「思春期の子どもとの接し方、子どもの発するサインに早期に気付くために」とし、講師に、心理カウンセラー「心の相談室 with」室長の竹内成彦先生をお迎えし、1時間があったという間の本当に楽しいお話をさせていただきました。



★日頃から子ども達をよく見てあげてください。子どもは見られたいと思っているし、子どもの変化にも気付いてあげられます。スキンシップを大切にしてください。人は触れられる事で、愛情を感じます。そして、声を掛け続けてください。例え無視されても掛け続けることが大切なのです。これらのことを小さい時からしてあげると、子どもに自尊感情が生まれます。

★人は話を聞いてもらうと、とても心が落ち着きます。大切にされたら、自尊感情が芽生えるからです。

★褒めるという行為は今ひとつなんです。褒めるということは、能力に注目しているからです。能力は失う恐れがあるのです。

子どもは一等賞になって褒められるより、ビリになった自分を抱きしめてほしいのです。

## ~保護者の感想~



★今回、竹内先生のお話を聞いて、すごく感動しました。思春期の子どもを持つ親として、子どもにしてはいけないこと、言っちゃいけないことなど、やってしまっていたと反省です。子ども達にしてあげたいことを心がけ、反抗期の息子に“その髪型かっこいいよ！”などと言うと、“気持ち悪い”と言われたりもしますが、竹内先生のお話を参考に、子育てができる喜びを楽しみにしたいと思います。

★ユーモアを交えた竹内先生のお話が、とても面白く、時間があっという間でした。自尊感情を持たせる=褒めることだと、ずっと思っていたので、もっと大切な子ども達にしてあげたいことを教えてもらえて、勉強になりました。日々心がけていきたいです。

\*会場が笑いに包まれた1時間でした。保護者の方々が少しでも「参考になった」と思っただけなら何よりです。また、このような機会がもてたらと思っています。